

# 必聴！ベテランガイドに聴く中部地方インバウンド・ツアーのポイント ～創業 139 年神谷バーでのランチ & 交流会付き～ 2019 年 8 月 29 日(木)実施 JGA 第一支部レポート

各地区のベテランガイドさんにご当地のインバウンド・ツアーのポイントをご講義いただくシリーズ、今回は中部地区です。8 月 29 日 9:30～11:50 台東区民会館 第三会議室で講義、同日 12:15～13:20 には有名な神谷バー 2 階の「レストラン カミヤ」でランチ & 交流会が開催されました。



参加者は 44 名（正会員 37 名、非会員 3 名、賛助会員 1 社 2 名、委員 2 名）、首都圏をはじめ遠くは、鹿児島県、大阪府、奈良県、長野県、愛知県等からもお集まりいただきました。全国通訳案内士以外にインバウンド分野の企業も参加対象でしたが、賛助会員の旅行会社 1 社 2 名様もご参加下さり、無料でのご招待でした。



会場に到着した参加者は、まず講師の第二支部理事丹羽やよい氏が各県から集めて下さった資料の重みに驚きました。丹羽講師は、まず地図を使って最近注目されている「昇龍道」の具体的なルート「どこを通るのか？」をご説明、その後は各県の地理、歴史、文化、さらに特産を、豊富なお経験で得た情報を交えて話されました。実際にお客様をご案内する際の注意点やご自分の経験談に、参加者は息をのんだり笑ったり、講師のお話は、書物や HP サイトだけでは得られないまさに現場からの貴重な情報でした。

中部地方は交通が不便な故に開発が遅れてしまったそうですが、それが幸いして、今では他の地域で失われている昔の日本のイメージが魅力となっているとのこと。確かに中部地方の豊かな自然、古の風情の残る街、変わらぬ人々の生活、歩いて楽しい旧街道…、日本人にとっても本当に魅力的な地域です。丹羽理事のお話はとても面白く、海外からのお客様も丹羽理事にご案内してもらえたらさぞ楽しいだろうと皆感じました。

最後の Q&A で、賛助会員旅行社のアサイン担当マネージャー様から「長いツアーでは、関東と関西のガイドの間の部分を担当する上での難しさ、苦労もあるだろう。どういう工夫をしているのか」という問いを込めた質問に、「まずはおお客様のご様子を見ます。」と答えられました。やはり、ツアーの主役はお客様、ガイド自身が満足することが目的ではない、そういう点も講師はしっかりと話してくださいました。

講義終了後は神谷バー 2 階レストラン カミヤにて、ランチ & 交流会を行いました。私達ガイドは、普段なかなか多くの仲間と会ったり言葉を交わしたりする機会がないので、各テーブルで会話を楽しむ姿、またお互いに名刺や情報を交換する姿が見られました。

★次回の各地区インバウンド・ツアー講義にご期待下さい！

